

山形県酒田市 280 年余りの伝統文化「黒森歌舞伎」



2010年2月15日に開催された酒田伝統文化「黒森歌舞伎」。日枝神社の祭典に関する重要な役割を担っているこの行事は、社殿に常設された舞台上で屋外による歌舞伎観覧。

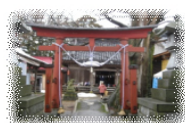
厳冬な地域ならではの雪振る中で観る歌舞伎は幻想的でかつ歴史の重みを衣装や緞帳に描かれる絵などから感じとれる。演じる役者は、普段、農家や会社員であるが、そういった人たちが化粧をし衣装に身を包み、昔から伝えられているとおりの台詞で演じる姿はプロの歌舞伎役者と言っても過言ではない。本狂言の前には、黒森小学校児童による少年太鼓や少年歌舞伎が上演され、伝統継承もきちんとされている。

日本の冬から逃れるのではなく、自然の恵みに応え雪中芝居を観る事もおつな物と感動した。毎年旧正月にあたる2月に奉納される。

【今年の演目】

義経千本桜

- ・ 伏見稲荷鳥居前の場
- ・ 釣瓶すし屋の場



明治 31 年
奉納された幕



出番を待つ子ども役者



次の時代を担う役者たち



舞台裏では餅を焼いて役者やスタッフの食事づくり。



郷土料理「呉汁」大豆をすり潰し味噌汁に入れる。



明治 31 年奉納された幕



伏見神社社殿に常設歌舞伎場